

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-180251

(43) 公開日 平成11年(1999) 7月6日

(51) Int.Cl.<sup>9</sup>

識別記号

F I

B 6 0 R 22/26

B 6 0 R 22/26

B 6 0 N 2/26

B 6 0 N 2/26

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-356499

(22) 出願日 平成9年(1997)12月25日

(71) 出願人 000169916

高島屋日発工業株式会社

愛知県豊田市大島町前畑1番地の1

(72) 発明者 松本 昇

愛知県東加茂郡下山村大字黒岩字九田地29番地10

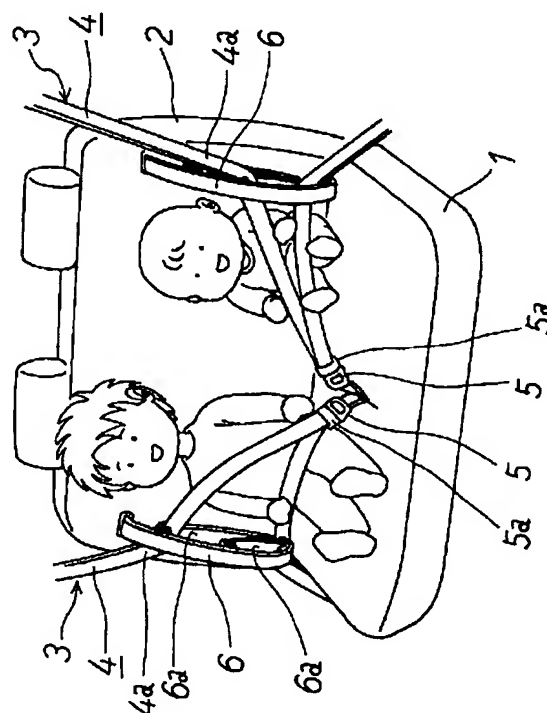
(74) 代理人 弁理士 名嶋 明郎 (外2名)

(54) 【発明の名称】 車輛用シート

(57) 【要約】

【課題】 シートベルトを幼児や子供達にも最適な位置で確実に装着することができる車輛用シートを提供すること。

【解決手段】 ドア側の上下から三角形に引き出したシートベルト4の先端をシートバック2の下端部にあるバックル5に固定する3点式シートベルト装置3を設けた車輛用シートにおいて、前記シートバック2のアウト側サイド部にドア側上部からバックル5に向け引き出されるシートベルト4を屈曲させて該シートベルト4が子供達の首部に掛からないようにするためのベルトガイド部材6を設けた。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 座席のドア側上下位置から三角形状に引き出したシートベルト(4)に設けたタング(5a)を座席の内側下方位置に設けたバックル(5)に連繋固定するようにした3点式シートベルト装置(3)が付設されている車輛用シートにおいて、シートバック(2)のドア側の所要箇所に前記シートベルト(4)が挿通可能なベルトガイド空間(6a)を形成するベルトガイド部材(6)を設けてベルトガイド空間(6a)に挿通されてシートベルト(4)のドア側上部からバックル(5)に向け斜めに引き出されるたすき状部(4a)が谷状に屈曲されるようにしたことを特徴とする車輛用シート。

【請求項2】 ベルトガイド部材(6)はシートバック(2)のドア側表面に沿って上下方向に延設されている請求項1に記載の車輛用シート。

【請求項3】 ベルトガイド空間(6a)はその上端ガイド面を異ならせてベルトガイド部材(6)の内部に複数個配設されている請求項1または2に記載の車輛用シート。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、シートベルトを幼児や子供達にも最適な位置で確実に装着することができる車輛用シートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来から、車輛用シートには安全性向上のために、座席のドア側上下位置から三角形状に引き出したシートベルトに設けたタングを座席の内側下方位置に設けられたバックルに連繋固定するようにした3点式シートベルトが付設されているのが普通である。しかしながら、従来の標準装備のシートベルトにあっては一般の大人を対象とした標準体格に合わせて取付位置や角度を設定してあるために、例えば、幼児や子供達のように標準体格よりもかなり小さな人がシートベルトを使用した場合には、シートベルトが顔や首などに掛かってしまい危険であるうえに、十分な安全性も確保できないものであった。

【0003】そこで、幼児や子供達を安全に保護するため、専用のチャイルドシートやジュニアシートを座席上に取り付けたり、あるいはシートクッション上に別部材のクッション体を敷いて子供の体格を標準体格に近づけシートベルトを装着する等の方法が採られていたが、このような場合には別部材である専用のシート部材を使用するので着脱操作が煩雑で煩わしいうえに、未使用時にはトランクルームに収納しておく必要があり収納スペースを圧迫してしまうという問題点があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記のような従来の問題点を解決して、専用のチャイルドシート等の別部材を準備する必要もなく、備付けの標準装備のシートベルトを使用して幼児や子供達を最適な位置で確実に

2

装着することができ、また、シートベルトの装着操作も簡単に行うことができる車輛用シートを提供することを目的として完成されたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するためになされた本発明の車輛用シートは、座席のドア側上下位置から三角形状に引き出したシートベルトに設けたタングを座席の内側下方位置に設けたバックルに連繋固定するようにした3点式シートベルト装置が付設されている車輛用シートにおいて、シートバックのドア側の所要箇所に前記シートベルトが挿通可能なベルトガイド空間を形成するベルトガイド部材を設けてベルトガイド空間に挿通されてシートベルトのドア側上部からバックルに向け斜めに引き出されるたすき状部が谷状に屈曲されるようにしたことを特徴とするものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下に、図面を参照しつつ本発明の好ましい実施の形態を示す。図面は、自動車のリヤシートに適用した場合を示すものであって、図中1はシートクッション、2はシートバック、3は3点式シートベルト装置であり、この3点式シートベルト装置は、座席のドア側の上下から三角形状に引き出したシートベルト4の先端のタング5aを座席の内側下方位置に設けたバックル5に固定する形式のもので、以上の構成は従来のこの種の車輛用シートと同じである。

【0007】そして、本願発明では前記シートバック2のドア側の所要箇所に前記シートベルト4が挿通可能なベルトガイド空間6aを形成するベルトガイド部材6を設けてあり、このベルトガイド部材6によりシートベルト4のドア側上部からバックル5に向け斜めに引き出されるたすき状部4aがこのベルトガイド部材6により谷状に屈曲されるようにしてある点に特徴とする構成がある。このベルトガイド部材6は、図示のようにシートベルト4を体格の小さい幼児や子供達の体型に合わせて屈曲させることにより、シートベルト4が着座している子供達の首部に掛からないようにするためのものである。なお、このベルトガイド部材6は、テトロン繊維やナイロン繊維などからなるシートベルト4と基本的に同材質からなるものであるが、その他、弾力性を有する合成樹脂製薄板を用いることもできる。

【0008】このベルトガイド部材6は、図2に示されるように、シートバック2のドア側表面に沿って上下方向に延設されるように、上下端末をシートバック2のクッション体を通じ裏側に導いてブラケットを介してシートフレーム7に垂直方向に固定して、ベルトガイド部材6とシートバック2との間にシートベルト4を挿通するためのベルトガイド空間6aが形成されるようにしてある。なお、図示のものにおいては、上端ガイド面の位置が異なる3個のベルトガイド空間6aが区画形成されており、シートベルト4の屈曲点を3種類の高さの中から

3

選択できるよう構成されているが、ベルトガイド空間6aの個数については1個でもよいし2個以上でもよいことは勿論である。

【0009】なお、ベルトガイド部材6は、シートバック2の本体部分のドア側表面に設ける他、図3に示されるようにサイドシート部2aに設けたり、図4に示されるようにホイールハウス2bに設けたりすることもでき、設置場所の自由度があるためシートの意匠性が損なわれることもない。更には、このベルトガイド部材6は、図5に示されるように、シートバック2を回動する際のアシストグリップとして用いることもでき便利である。

【0010】このように構成されたものは、標準体型の大人が着座する場合には、常法に従いシートベルト4の先端のタング5aをバックル5に嵌合することにより、3点式のシートベルト装置として使用に供される点は従来のこの種の車輛用シートと同じであるが、本発明ではシートバック2のドア側の所要箇所に前記シートベルト4が挿通可能なベルトガイド空間6aを形成するベルトガイド部材6が設けられているから、標準体型よりも小さな幼児や子供達が着座する場合には、シートベルト4のタング5aをベルトガイド部材6のベルトガイド空間6aに挿通させたうえでバックル5に嵌合係止させれば、該ベルトガイド部材6によってドア側上部からバックル5に向け引き出されたシートベルト4のたすき状部4aは浅い谷状に屈曲された状態となり、このため、子供達の首部に当たることなく肩部上方から腰部に向けた最適位置でたすき状に緊縛することとなる。

【0011】従って、従来のように専用のチャイルドシート等の別部材を準備する必要もなく、備付けの標準装備のシートベルト装置3を使用して幼児や子供達を最適位置で確実に装着することができこととなり、また、

4

その装着操作も体型に合わせて任意のベルトガイド空間6aに挿通するのみできわめて簡単に行うことができ。更には、チャイルドシート等の別部材を用いないために、座席スペースやトランクルーム等が圧迫されることなくフルに活用することができ、快適なドライブを楽しむことができることとなる。

【0012】

【発明の効果】以上の説明からも明らかなように、本発明は専用のチャイルドシート等の別部材を準備する必要もなく、備付けの標準装備のシートベルトを使用して幼児や子供達を最適な位置で確実に装着することができ、また、シートベルトの装着操作も簡単に行うことができるものである。よって本発明は従来の問題点を一掃した車輛用シートとして、産業の発展に寄与するところは極めて大である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態を示す斜視図である。

【図2】ベルトガイド部材の取付状態を示す斜視図である。

【図3】その他の実施の形態を示す斜視図である。

【図4】その他の実施の形態を示す斜視図である。

【図5】本発明のその他の利用形態を示す斜視図である。

【符号の説明】

2 シートバック

3 3点式シートベルト装置

4 シートベルト

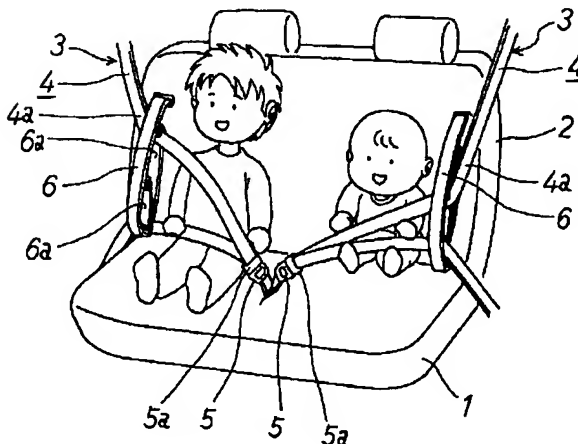
4a たすき状部材

5 バックル

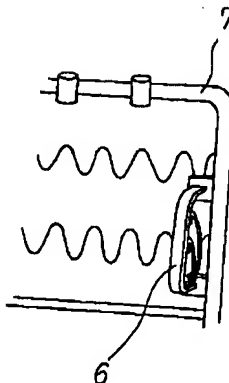
30 6 ベルトガイド部材

6a ベルトガイド空間

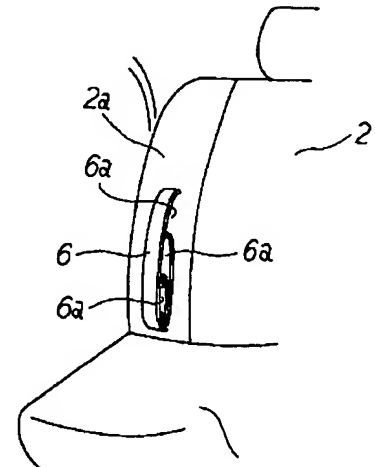
【図1】



【図2】



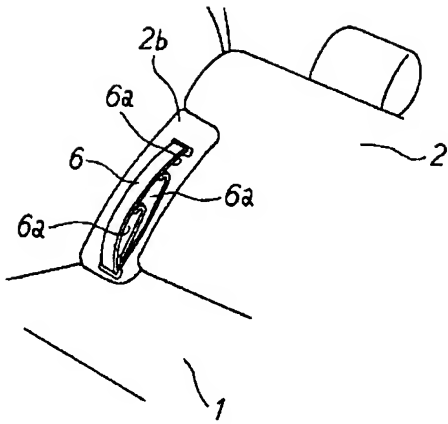
【図3】



(4)

特開平11-180251

【図4】



【図5】

